

弥彦村議会 競輪特別委員会会議録

開催日時 平成30年 6月18日
会 場 弥彦村役場委員会室
時 間 開 会 午前11時00分
閉 会 午前11時58分
出席委員 安達丈夫、本多啓三、板倉恵一、田中満男、柏木文男、本多隆峰、
小熊 正、花井温郎、赤川幸子、武石雅之、
欠席委員 なし
説明者 村長、総務課長、公営競技事務所長、参事
職務のため出席した者 議会事務局長、書記

弥彦村議会委員会条例第27条により署名する。

平成30年 月 日

委員長

安達丈夫

平成30年6月定例会競輪特別委員会

平成30年6月18日 午前11時16分開会 委員会室

安達委員長 ただいまから、競輪特別委員会を開会いたします。現在の出席委員は10名であります。定足数に達しておりますので、直ちに会議を開きます。審査に入ります前に、村長からご挨拶をお願いいたします。

村長 本会議総括質疑に続きまして、競輪特別委員会の開催をお願いいたしましたところ、ご出席いただき、ありがとうございます。議題については、お手元の資料のとおりでございます。ご審議どうぞよろしくをお願いいたします。

安達委員長 ありがとうございます。これより審査に入ります。本委員会に付託されました補正予算3案件を議題といたします。本案件については、初日に提案説明が行われておりますので、早速審査に入ります。

まず初めに、承認第8号 専決処分の報告について、平成29年度弥彦村競輪事業特別会計補正予算（第4号）について、を議題といたします。専決補正予算1案件について、ご質疑があればこれを許します。ご質疑はございませんか。 (なし)

質疑なしと認めます。続いて討論に入ります。討論はございませんか。

(なし)

討論なしと認めます。お諮りいたします。ただいま議題となっております、平成29年度専決補正予算につきましては村長報告のとおり承認することにご異議ございませんか。 (異議なし)

異議なしと認めます。したがって、当委員会に付託されました承認第8号 平成29年度競輪事業特別会計専決補正予算につきましては、報告のとおり承認することに決定いたしました。

次に、承認第13号 専決処分の報告について、平成30年度弥彦村競輪事業特別会計補正予算（第1号）を議題といたします。ご質疑があればこれを許します。ご質疑はございませんか。 (なし)

質疑なしと認めます。続いて討論に入ります。討論はございませんか。

(なし)

討論なしと認めます。お諮りいたします。ただいま議題となっております平成30年度専決補正予算につきましては、村長報告のとおり承認することにご異議ございませんか。 (異議なし)

異議なしと認めます。したがって、当委員会に付託されました承認第13号 平成30年度競輪事業特別会計専決補正予算につきましては、報告のとおり承認することに決定いたしました。

次に、議案第35号 平成30年度弥彦村競輪事業特別会計補正予算（第2号）を議題といたします。ご質疑があればこれを許します。ご質疑はございませんか。（なし）

質疑なしと認めます。続いて討論に入ります。討論はございませんか。（なし）

討論なしと認めます。お諮りいたします。ただいま議題となっております、平成30年度補正予算につきましては、村長提案のとおり可決することにご異議ございませんか。（異議なし）

異議なしと認めます。したがって、当委員会に付託されました議案第35号平成30年度競輪事業特別会計専決補正予算につきましては、提案のとおり可決することに決定いたしました。

以上で、当委員会に付託されました、専決補正予算2案件、補正予算1案件の審査は終了いたしました。

次に、付託案件外に入りますが、提出されている資料に基づいて、公営競技事務所長から説明をお願いいたします。公営競技事務所長。

公営競技事務所長 用意しました資料①から⑦について、一括で説明いたします。はじめに資料①について、全国各場の開催日数、入場者数、売上となっております。黄色く塗られた部分が弥彦村です。一番下の行ですが、総車券売上高が前年度比で100.9%です。約640億、競輪の売上げの全体です。4年連続、前年度を上回っております。これはミッドナイト競輪の開催が関わっているのだろうと思います。

次に資料②、平成29年度の売上表です。弥彦競輪場、サテライト新潟、サテライト会津の3か所について記載したものです。弥彦競輪場の総売上額のところ、前年度比で、特に1月が70.5%でした。これは、やはり雪の影響かと思えます。合計で87.0%ですが、これも工夫が必要だと思います。

次の資料③、平成29年度の開催別収益です。これは、前々回から提出させていただいていますが、開催ごとの収益がわかるものになります。ご覧のとおり、FⅡ開催については、2,500から2,900万円の赤字開催になります。FⅠについても全国日程調整の中で、場外場がつかなければ、第7回のように赤字が発生してきています。ミッドナイト競輪については収益も安定していて5,600万から5,900万円の間で黒字開催となっております。合計しますと約3億2千万円の売上があったということで、表の右下にある開催外収入と支出の差引が約2億5千万円で、そのうち一般会計への繰出しが7千万円、基金積立が1億8千万円となりました。

次に資料④、基金の状況です。先程、平成29年度で10億6千5百と申し上げましたが、10億2千5百万円でした。一般会計への繰出しが7千万円、

財政基金に5千万円、整備基金に1億3千万円を積み立てさせていただきたいと思えます。

資料⑤、平成30年度の売上総括表です。通常、この6月定例会ですと比較にならない状況ですが、9月定例会の特別委員会であれば、1年間のことがわかる資料となるので、今回は現在わかる範囲となっております。

資料⑥、平成30年度売上表です。こちらも5月分までの数字です。グレードも昨年と同じ時期に同じものを行っているわけではありませんので、比較は難しく、いまのところ5月までの数字が入っています。

資料⑧、ミッドナイト競輪の日別売上状況です。今年度4月、5月のミッドナイト競輪を弥彦競輪で開催したところが黒く縁取りしてあるところです。平成30年度からは、1日ないし、2日の競合が発生します。開催場が多くなったということです。この中にも競合がない、4月初め、5月初めの奈良と武雄ですが、これはすでに29年度で競合しているため、バランスを取って、単独開催となっております。4月27日から29日は4億4千万円で、ミッドナイトとしては売れた金額です。初日のみ単独で2億1千万円でした。2回目の5月20日からの開催は、逆に売れなかったものです。この検証はまだわかりませんが、競合している小倉も売上が伸びなかった。大体、競合している場合、先行している場の売上が伸びているのは確実です。ミッドナイトについては、弥彦競輪は、上半期であと残り4節ありますが、これは全て1日競合になります。表下の折れ線グラフですが、平均しますと、1節あたり3日間ですが、平均売上が4億4千3百万円、1日あたり平均売上が1億4千7百万円です。30年度は2回の平均ですが、競合ではありますが、1節あたり平均売上が3億8千6百万円、1日あたり平均売上が1億2千9百万円です。当初予算では、競合も考えて編成しておりますが、単独開催の場合、1日1億5千万円で試算しております。競合した日については、1億円で試算しております。2日競合の場合は、3億5千万円で試算しておりますけれども、今回2節やった中では、合計で3億8千6百万円でした。試算よりは上になった。競合すると、競合しない時の2分の1になるかといいますと、それより売上は伸びますので、当初予算で試算したものよりは、実際、売上の方が伸びているということです。

資料⑦、7月28日から開催される弥彦記念競輪ですが、左側が場外車券売り場の一覧です。ほとんどの競輪場、サテライトで場外発売していただけることとなります。右側は出場予定選手の一覧となります。S I、S級については関東の選手で平原選手、新潟支部の諸橋愛選手の2名が幹旋されることになり、S級、S1が2名とも関東になると番組が作りづらいのかなとも思いますが、今回は、幹部が2名ということになりました。S級1班、2班はご覧のとおりとなります。目標は55億円です。前年度は52億円を下回ったのですが、最

終日は11レースで、企画レースを行いませんでした。前年度も企画レースをしていれば、53億円くらいはいったかと思いますが、今回は企画レースを行います。

資料⑨、付託案件ですが、今一度説明をさせていただきます。弥彦競輪場の施設改修計画です。写真は記念競輪、特別競輪の時に実際必要になる仮設です。右上のロイヤル棟の上に仮設がありますが、ここだけ作るのは記念競輪だけです。左の3階建の建物がありますが、これを含めてGIレースができるということです。今回既設として建設する建物は、左の写真の上にロイヤル棟の部分が載るということで4階建てになりますので、それだけの面積が必要になります。当然、地権者の承諾も得なければいけませんし、弥彦神社については先月、概要説明させていただいて、環境に十分注意していただければ、承諾します、というお答えをいただいています。また、宝光院にいては、お借りする形になりますので、そちらに出向きまして、説明をさせていただきました。いろいろな条件はありますが、建設については承諾をいただきました。地権者だけではなくて、3階か4階か、まだどちらになるかわかりませんが、そうなった場合に影響が出るであろう地域の方にも直接、お話をさせていただきまして、大丈夫ですよという承諾をいただきました。そういう形で進めさせていただきたいと思います。ここに記載されていますのは、先程説明させていただいたもので、一番左下にスケジュールがありますが、6月議会で承認していただければ、次の9月議会で工事の関係の補正をお願いしたいと考えております。設計図面等ができましたら、事前にご協議をいただきたいと思います。

次のページ、今ほど仮設の部分、来賓席、記者席について、お話しましたが、その他の設計委託については、競輪場全体を見直そうということで、優先事項として、まず一番利用の多いセダーハウスが今の状況でいいのかということもあります。また、GⅢ以上の開催での特設ステージは毎年70万円以上の経費がかさみますので、仮設ではなくて、これも常設にしたらどうかということ。あと、入場口を入りますと緑の錆びついたアタンがお出迎えということですので、入場しやすい環境を考えると入場口付近についても考えていくことになります。その他として、今まで工事を行った年度等が書かれています。右側の図面については、改修工事の図面です。赤い部分がこれから考えていくところです。その他にもありますが、優先順位をつけると、赤丸でつけた部分が喫緊で工事をしていかなければいけない部分と考えます。

次に隣のページですが、ご質問のありましたけいりん会館の改修工事の図面です。図面左側、これは1階ですが、赤い部分が改築する部分になります。会議室はほとんど利用がありませんので、これを宿泊室に変更。予備室、倉庫については、女子専用の浴槽などの建築になります。機械室は、補正でお願いし

た新たなボイラーの設置箇所になります。以上が1階部分の説明になります。裏面については、2階部分の図面です。これについては、女子トイレの改修、階段の設置です。この階段を設置することによって、男子選手との接触が非常に少なくなる。男子が宿泊している部屋の前を通ることが一切なくなります。選手を管理する方としては、非常にやりやすくなるので、この階段を設置して、この部分ですべて完結するという形になります。けいりん会館について、今後の利用について話し合われて当然だと思いますが、今のところの利用は選手宿舍の利用が100%です。高校駅伝があった時は、招待校を泊めた時もありますが、今後けいりん会館の使用について考えますとこの改修工事をするのでいろいろなことに利用できるのではないかと考えます。お風呂が二つになるので、男女別に同時に使用できます。使用方法については使用勝手が良くなります。説明は以上です。

安達委員長 ただいまの説明に対して、質問、ご意見はありませんか。本多委員。

本多(隆)委員 現況平面図で、男女を分けるということですが、女子の宿泊室の数はいくつですか。男女をどこで区分するのですか。

公営競技事務所長 女子の宿泊場所は、2階部分の宿泊室1から3となります。ガールズ競輪について、今のところ弥彦村では2レース、14人しか受け入れができません。宿舍については受け入れができるが、競輪場の女子選手の控室が14人で最大です。宿舍の2階部分を使って、管理する立場としては目が届くようにということで、仕切ることにはしません。部屋番号1番から5、6番まで女子選手、男子選手は11番からにするとかです。

村長 女子選手がどこに泊まっているかということについては、オープンにさせていただきたくないのでよろしくお願いします。

花井委員 従来の競輪特別委員会に提出された資料に比べると、今回の資料は詳細にできている。村長が、経費の節減ということで外部監査もやめられたということにつながるのかと思うが、いままでだと2枚くらいであった。大変良い。

安達委員長 その他、意見、質問はありませんか。 (なし)

発言なしと認めます。次に、競輪事業全般について、質問、ご意見がありましたら、発言を許します。付託案件外ですが、ご意見ありませんか。花井委員。

花井委員 外部監査について、今後どうするつもりかというお話で、やらないというお話があったような気がするんですが、どうしてあの問題が解決したのに、必要だと思われる外部監査をやらないようなお考えになったのですか。その点をお聞かせいただきたいと思います。

村長 さきほど答弁させていただきましたように、村長へ承認のお願い

するのをやめたから、じゃあ戻しますというのは、大人げない対応だと思いましたが、約束した通り、私の任期中については、外部監査は出しません、ということでございます。

花井委員 しかし、必要なことはどこまでもきちっとおやりになるというのが立場だと思います。あの問題が、サイババの関係団体の好意的というか良心的な対応によって、解決したということになれば、やはり村長がかねてから必ず毎回の定例会毎に外部監査の予算要求をします、ということで提案説明を申し上げたんですから、私はいいと思うことはきちっとおやりになる。そっちの問題が片付いた以上、提案すべきだと思います。提案をやめる理由がなくなったわけですから、私はきちっとおやりになるべきだと思います。事務局もこれだけの資料を出すようになってきている。それだけじゃなしに村長はこれまでお話になってきたように専門的な立場から検討して、よりよき成果を上げる。必要でない経費の削減でこれからの競輪行政に対応していかななくてはいけないとおっしゃったわけですから、私はその基本的な捉えで、きちっと外部監査を受けられるべきであると。その点、どうですか。

村長 この必要性について、考え方は全く変わっておりません。たまたま事業の調子がいいので、来年度以降どうなるかわかりませんが、その方針だけは間違いなく堅持していきたい。花井議員もとにかく、私に一旦とりやめるよう何回も提案されたんで、そのことだという風に捉えていただければありがたい。

花井委員 この次の定例会でとは申しませんが、休まれたら、きちっと提案されるべきだと思います。村長、よろしくお願いします。

安達委員長 他にありませんか。柏木委員。

柏木委員 開催カードについて、気になっていることがあります。川崎のナイター、函館のナイター、ナイター競輪、記念競輪を2度やるような形にとれる。今後ずっとこういう形でやっていくのですか。売り上げを見ますと、昼間の競輪より若干下がっている。今昼間の開催が50億くらい、ナイターが40億から30億の後半くらい。2度やることについて、収益的には昼間1回でやった方がいいのか、それとも2回に分けて収益が上がるのか。上がるのであれば、ナイター競輪について周辺の住民の方に説明が必要になります。2回やった方が収益が上がるように思います。売上は落ちますが。開催の日数が同じでいいのか、それとも減るのかについてもお聞きしたい。

公営競技事務所長 函館競輪と川崎競輪がナイター競輪で2回開催やりますが、1開催36億円くらいだったと思います。昼間がいいのかナイターがいいのか、収益については2回やっても、日中と大体同じくらいの収益になります。去年から、それが試験的に行われて、今年度からそういう形になりました。来年度

もその可能性はありますが、また日程についてはJKAの方で、線引きをする話もあります。31年度については記念競輪、特別競輪は決まっています。32年度からは、JKAが線引きを行う可能性があります。来年度は、ナイター2節というのは変わりません。

柏木委員 万が一、弥彦がやることになると収益が変わらないのなら、やらない形も考えておいた方がいいのではないか。

公営競技事務所長 これは儲かるからやらせてくださいと言って、やらせてもらえるものでもないで、収益が見込まれるのであれば、当然、誘致したいと思います。それにはナイター競輪をできる環境を作らなければいけないので、地域の方に説明は必要です。お客さんを入れるわけなので、スタンドもすべて照明を設置しなくてはならない。収益が確実に上がるのであれば、誘致してナイター競輪ができる環境を整えていきたいと考えています。

柏木委員 JKAがすべて日程調整するという件で、今までだと各施行者毎に集まって日程調整しましたが、それがなくなって上の方から降りてくる感じを考えておけばいいのですか。

公営競技事務所長 今のところは、協議をしている段階です。記念競輪、特別競輪は、その場、その場の命をはかるような抽選での日程調整ですので、安易にJKAが決めることについては、まだ煮詰まっていません。

柏木委員 それは、記念競輪、特別競輪だけの話ですか。普通競輪はいままでどおりですか。

公営競技事務所長 F1開催までそういう話が出てきています。担当地区を決めてやりなさい、というのは今もあります。車両室あたりは、そこに場名を入れていこうという話もありますが、施行者としては、協議の必要があるという意見なのでそこまではいきません。今のところは、F1まで線引きが入る可能性があるということです。

村 長 つまり、努力する場だけを対象にやっていきますよということです。はっきりとした線引きをされる可能性があります。やらざるを得ないということになります。

安達委員長 他に、発言ございませんか。

(なし)

発言なしと認めます。

以上を持ちまして、本日の委員会日程はすべて終了いたしました。ご協力ありがとうございました。以上で、競輪特別委員会を閉会いたします。

(閉会 午前11時58分)